

令和5年度シリーズ「人間環境学」について

➤ 前期・水曜日 4 時限目 (14:50~16:20)

➤ イーストゾーン 大講義室 II

➤ テーマ：人間と環境との関わりを問い直す

気候変動、少子高齢化、頻発する激甚災害や国際紛争など多様なリスクに直面する中で、人間と環境との関係性はどうかあるべきか。これまでも、人間と環境との関係性は、人類学、環境学、教育学、建築学など多岐に渡る分野で問題提起され、多くの議論も重ねられてきたが、刻一刻と変化する自然や社会環境に対応して、より長期的かつ明確なビジョンをもって人間と環境との関係性を再考し、再構築することが求められる。

2023 年度シリーズ人間環境学では、この喫緊でありながら正解もなく、多面的な視点を踏まえて柔軟に議論すべき課題について皆さんとともに模索してみたい。授業では「人間と環境との関わり」を基本的なテーマとし、人間環境学を構成する多様な分野の教員を中心に、人環以外の幅広いご所属の九大教員による講義とともに、受講生のグループワークによる発表とディスカッションを行う。本授業を通じ、人間環境学に関わる多様な視点やアプローチを学び、異分野との相互理解や協働基盤を築くとともに、自発的かつ批判的な思考力を養うことを望む。

➤ 授業日程

回	月日	専攻等	担当教員	個別テーマ
01	4/12	都市共生デザイン	蕭 耕偉郎	イントロダクション
02	4/19	工学研究院	樋口 明彦	グリーンインフラによる地域防災と風景力との両立
03	4/26	人間共生システム	佐々木 玲仁	自然環境と子供の居場所：糸島市子どもの居場所みなもの例から
04	5/10	行動システム	重藤 迪子 (内田 若希)	地震工学から考える自然災害リスクと人間との関わりあい (コロキウム周知)
05	5/17	都市共生デザイン	杉山 高志・『震災の前日』の語り (担当者・題目確認中)	
06	5/24	経済学研究院	與倉 豊	都市集積と産業集積
07	5/31	空間システム	堀 賀貴	古代ローマにおけるパンデミック
08	6/07	重藤 迪子・有馬 雄祐・蕭 耕偉郎		グループ発表
09	6/14	人間共生システム	高橋 沙奈美	国際関係、宗教に着目する共生型社会
10	6/21	空間システム	有馬 雄祐	人間の居住環境とウェルビーイング
11	6/28	芸術工学研究院	田上 健一	アジア地域における居住空間の近代化
12	7/05	教育システム	野々村 淑子	産育をめぐる政治と女性一保護・自由・分断一
13	7/12	人間共生システム	松下 智子	環境ストレス対処としてのセルフケア
14	7/19	有馬 雄祐・蕭 耕偉郎 (内田 若希)		(まとめ) 学生グループ発表ワークショップ (R6 年度のコロキウムの募集案内)
15	8、9 月 頃※1	松尾 真太郎・南部 恭広 (伊藤 崇達・内田 若希)		人間環境学コロキウム※1 (次年度のコロキウムの募集案内)

※1 担当教員からの提案：松尾 真太郎・南部 恭広 (空間システム専攻)

(日程については検討中のため、決まり次第追って通知します。)

- 授業形式は対面を予定していますが、状況によってオンライン対応の可能性があります。
- 各回の受講生の出欠について、それぞれご担当の先生方で確認と記録をお願いしています。
- 成績評価は課題に対するレポート、授業への出席状況、中間グループワークへの参加・発表、最終グループワークへの参加・発表等をもとに総合的に行います。
- 本授業の詳細についてはMoodle のコース「2023 年度前期・水4・人間環境学（蕭 耕偉郎）」を参照すること。
- 本授業の最終回に「人間環境学コロキウム」を実施する。「人間環境学コロキウム」は、学生が主体となって企画・運営する学術セミナーである。学内外から講師を招いて、人間環境学に関わる多様な話題について議論し、各学生の専門分野を超えた学術交流を図り、「人間環境学」の視点に立った研究の進展と、それを支える人材の育成を目差している。詳細は、人間環境学府のウェブサイトを参照すること：<https://www.hues.kyushu-u.ac.jp/colloquium/>
近年はシリーズ「人間環境学」の発展形として「人間環境学コロキウム」を捉え、翌年度の「人間環境学コロキウム」を企画・運営する実行委員会の学生委員を募っている。